

ANNUAL REPORT

事業報告書2024



社会福祉法人 こうほうえん

わたくしたちは地域に開かれた 地域に愛される地域に信頼される こうほうえんをめざします。

法人概要 Corporate profile

事業内容	第一種・第二種社会福祉事業	経常収入	142億4400万円(2024年度)
設立	1986(昭和61)年6月	事業	事業所数 122ヶ所(鳥取県、東京都)
代表者	理事長 廣江 晃	実施サービス	225(介護・高齢者事業185、保育事業13、障がい福祉事業22、医療事業5)
職員数	2,305名(2025年3月31日現在)		

方針 Policy

01

基本方針

わたくしたちはサービス業のプロとして正しい情報を伝達し自分が受けたい保健、医療、福祉サービスの提供・改善に努めます。

02

基本方針(保育)

わたくしたちは子どもと同じ視点で等しくかわりいつでも安心して利用できる保育サービスの提供、改善に努めます。

03

診療方針(錦海リハビリテーション病院)

わたくしたちは回復的リハビリテーション医療と地域連携を通して患者さんの社会参加を支援します。

2024年度
スローガン
2024's Slogan

一歩踏み出すやる気と勇氣

互いに認める多様性

深める品質みんなの幸せ



2014年度
日本経営品質賞
大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの
国際規格)を
認証取得しています



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に
選定されました



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービス日本300選に
選定されました



時代の変化を先読みし 地域課題解決に地道に取り組む

本年1月にトランプ氏が米国の大統領に再登板してから、週替りで国際情勢や経済情勢が変化しています。社会福祉法人の経営への直接的な関連はほとんどないですが、日本経済に対してどのようなハレーションが起こるか注意深く見ていかなければなりません。また、現状過度な円安は改善されてきていますが、米などの食料品を中心とした物価高は続いています。法人経営への影響は大きく、政府も補助金を出すなどの対応をしていますが、どうしても後手になります。業界における要望活動も適切なタイミングで行っていかなければなりません。

2024年10月に一般財団法人日本民間公益活動連携機構のご支援を受け、『みんなの居場所あいRIN』の事業を開始いたしました。法人として継続的に活動が続けている米子市永江団地にて、子どもの居場所づくり及び学習支援の拠点として整備しました。遊びや学習スペースとともに駄菓子屋も併設し、団地内の子どもが集う場所

になればよいと考えています。

同年7月より、米子市住吉加茂包括支援センターが、義方小学校エリアを新たに担当エリアに加え、『米子市後藤ヶ丘・加茂包括支援センター』に名称変更をしました。資格保持者がまだ不足していますが、地域包括として地域の高齢者をサポートするべく、その機能の充実を図りたいと思います。

2025年2月に、日本生産性本部が設立した経営デザイン認証委員会より、東京地区保育部門が「経営デザイン認証 スタートアップ認証」を受け、昨年の東京地区の介護部門からの引き続きの受賞となりました。これで、法人内の大多数の部門が経営品質賞の受賞を受けたことになります。今後は法人全体として2度目の受賞を目指したアプローチをしていきます。

同年3月に鳥取県内の社会福祉法人として唯一となる「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定されました。事業継続していくために職員の健康は非常に重要な要素ですが、職員自身も自分の健康に留意することが自らの生活の質を高めることになります。点数自体はまだ平均点ですが、持続的な活動を継続し、改善に努めていきたいと考えています。

2024年の1年間で総人口が55万人、日本人人口は約90万人減少したとのこと（差の35万人は外国人の増加分）。今後、年々この傾向が加速していくことが予想され、医療・福祉の世界もその状況に合わせた変化が予想されます。そうした変化を先読みしながら、引き続き社会福祉法人としての地域課題解決に向けた取り組みを地道に進めていきたいと思っています。

理事長 廣江 晃



2024年度トピックス

2024's Topics

Topics

01

「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました

鳥取県内の社会福祉法人として唯一認定

『社会福祉法人こうほうえん』は、経済産業省が推進する健康経営優良法人認定制度に申請し、前年度に引き続き2024年3月10日、優良な健康経営を実践している法人を表彰する「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。大規模法人部門は鳥取県内、認定企業は8法人認定、社会福祉法人としては唯一認定された法人となりました。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

■健康経営優良法人認定とは

経済産業省と日本健康会議が、地域の健康や職員の健康増進に先進的に取り組む優良な法人を顕彰する制度です。



ACTION!
健康経営HP

2024年度の重点的な推進項目は、以下の6点でした。

- 超過勤務対策 ●睡眠障害
- 運動推進 ●栄養管理
- 禁煙の推進 ●メンタルヘルス対応



■「健康経営」とは

- ①職員の健康維持・増進の取り組みが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えのもと、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。
- ②企業が経営理念に基づき、職員の健康保持・増進に取り組むことは、職員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や組織としての価値向上へ繋がることを期待される。
- ③SDGsへの取り組みが重視される中、健康経営に取り組むことは直接SDGsへリンクする。※『こうほうえん』は2022年4月健康経営宣言をしました。

「こうほうえん 健康経営宣言」

こうほうえんは、職員とその家族の心身の健康がもっとも重要であると考え、健康保持・増進活動に対して積極的な支援と組織的な健康づくりの推進に取り組めます。また、利用者、地域住民と力を合わせ、健康で活力にあふれる「地域共生社会」の実現を目指します。

2022年4月1日
社会福祉法人 こうほうえん

『こうほうえん』が地域に互惠互助社会を構築していくためにも、まず働く職員自身が健康でなければならないと考え、積極的に健康づくり、働きやすい職場環境に取り組んでいきます。

Topics

02

保育・児童部門が「経営デザイン認証」を受賞しました

「スタートアップ認証」13組織に選出

2025年2月4日、(公財)日本生産性本部が設立した経営デザイン認証委員会より、組織のありたい姿や変革課題等を「経営の設計図」に描き、明確化していると認められた組織を認証する「経営デザイン認証」の第7回認証組織の発表がありました。そこで、こうほうえん 保育・児童部門が「スタートアップ認証」13組織のうちの1つに選ばれました。



経営デザイン認証
2025年2月-2028年2月 スタートアップ認証

■経営デザイン認証 【組織名】社会福祉法人こうほうえん 保育・児童部門 【本社所在地】鳥取県米子市
スタートアップ認証 【業種】福祉・医療サービス 【設立】2022年 【売上】24.1億円 【社員数】403人

ユマニチュード認証の取り組み進む

『ケアホーム西大井こうほうえん』から全事業所へ広まり

2024年2月25日、『ケアホーム西大井こうほうえん』が日本で5事業所目となる、ユマニチュード認証のブロンズ認証を受けました。ユマニチュード認証は、フランス生まれのコミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」を通じて、質の高い良いケアを実践している組織を、予め定められた評価基準の元に認証する制度です。

『ケアホーム西大井こうほうえん』は、ユマニチュードに取り組み始めて7年となり、入居者一人ひとりに合った個性の高いケアを行っています。職員がご利用者の今までの人生を知り、個人の尊厳を支えるケアを実践されている点も高く評価されました。

2024年度は、この認証を受けて、『ケアホーム西大井こうほうえん』から全事業所へ取り組みが広まりつつあります。事業所ごとにユマニチュード推進チームが生まれ、各事業所の推進に活躍をしています。2025年2月には、『ケアホーム西大井こうほうえん』の田中とも江施設長が講師となり、改めて管理者・指導者層への研修を行いました。ユマニチュードを推進することで、これからも地域のお年寄りが満足して過ごすことができ、働く人が誇りを持てる場となるようにしていきます。



ユマニチュード認証
ブロンズ

社会福祉法こうほうえん
ケアホーム西大井こうほうえん

【ことば】ユマニチュード認証制度とは

日本ユマニチュード学会が創設した認証制度。本人・家族、職員、経営者のすべての幸せを目指し、ユマニチュード5原則と生活労働憲章の実現を通じて質の高いケアを実践している組織を育成・支援し、その輪を広げていくことを目的としています。取り組む組織の種類によって医療系と介護系に分かれており、それぞれ「ブロンズ（共通）」「シルバー」「ゴールド（国際認証）」3段階で認証します。

「ブロンズ（共通）」は基本の理解と導入、「シルバー」は基本の実践と定着、「ゴールド（国際認証）」は高いレベルでの実践と定着と定められており、今回『ケアホーム西大井こうほうえん』が認証した「ブロンズ（共通）」は、ユマニチュードに組織を挙げて取り組む体制が出来上がっており、職員がユマニチュードの基本を理解し、実践に取り組んでいる組織となります。



日本ユマニチュード
学会

ユマニチュードに取り組む『ケアホーム西大井こうほうえん』の目標

住んでいる方が**楽しく**暮らすことができ…私たちも**楽しく**働くことができ…

絶えず「**ここに住みたい**」「**ここで働きたい**」と希望してくれる方がいて…関わる人すべてが**幸せ**になることができる



やさしく手をそえて、目と目を合わせて語りかける



ご利用者からは自然と笑顔がこぼれる



必ず声をかけながら、日々の歯磨きを行う

2024年度トピックス

2024's Topics

Topics
04

『米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター』開設

人口3万5000人弱、高齢化率29%超のエリアをカバー

地域包括支援センターは、地域の高齢者の皆さんが、健康で安心して暮らせるように、総合相談をはじめ、介護予防、権利擁護、地域の支援体制づくりなどを行う施設です。『こうほうえん』では、行政の委託を受けて米子市内の2か所と鳥取市内の2か所で地域包括支援センターを設置・運営しています。

このうち、米子市の『ケアハウスよなご幸朋苑』内にある地域包括支援センターは、2024年7月1日から担当区域が広がり、名称も『米子市住吉・加茂地域包括支援センター』から『米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター』へと変更になりました。もともとの担当区域の加茂地区・河崎地区・住吉地区に、新たに義方地区が加わり、人口3万5000人弱、高齢化率29%超のエリアをカバーしています。市街地で、米子市内の他の地区と比べても住民の数が多いため、しっかりと支援の手が行き届くよう、職員15名が対応しています。



2024年7月1日、『ケアハウスよなご幸朋苑』内に名前を新たに開設

高齢者本人や家族の課題解決に取り組む

『米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター』では、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーを規定の人数以上置いているほか、3名の管理栄養士も配置して、さまざまなケースに対応できる体制を整えています。担当区域が増えたことで、1日の相談件数も増加し、その内容も高齢者の方の孤独感やお金の管理、介護保険の使い方、退院後の生活のことなど幅広くなりました。これらの相談に応えられるよう、24時間365日電話相談に対応しています。

最近注目されるヤングケアラー問題のように、介護する側にも困難があるなど、高齢、障がい、子育て、生活困窮といった問題が絡み合い、複雑化しているケースは珍しくありません。こうした世帯には、高齢者の方だけでなく世帯全体で適切な支援を受けられるように関係機関と協力して課題の解決を図っています。

また、子どもから高齢者まで切れ目のない重層的な支援を行えるように、担当区域内の障がい者施設、児童養護施設とも連携。それぞれを運営する3法人で協力して「なんでも相談電話」を開設し、幅広い世代のさまざまな困りごとの相談を受け付けています。



相談は電話でも、来所でも。担当圏域が広がり、相談件数も増えています



地域の皆さんの相談をうかがい、医療や福祉、行政などと連携して当事者やご家族に必要な支援につなげます

多角的な支援で、地域と共に暮らしやすいまちをつくる

地域包括支援センターの利用対象は、65歳以上の高齢者やその支援にかかわっている方、そして65歳未満でも介護保険の特定疾病に該当する40歳以上の人も利用できます。地域包括支援センターが、高齢者の方だけが利用するものではないことを広く知ってもらうために、地域への啓発活動も行っています。また、認知症の方が行方不明になった時のための徘徊模擬訓練や、小学校での認知症キッズサポーター養成講座などを開催し、困った時にすぐに思い出して相談してもらえるように、地域に出向いて普段から関係を築いています。



保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーなどの資格を持つ職員が支援します



地域の公民館などに出かけて高齢者福祉やフレイル予防の講座も開催

永江地区に『みんなの居場所 あいRIN』が開所

子どもが安心できる第3の居場所が誕生

米子市の永江地区は、団地の高齢化や子育て世代の流出が進み、唯一のスーパーも撤退するなど空洞化が問題になっている地域です。これに危機感を募らせた地元自治会が主体となって地域の活性化に取り組み、『こうほうえん』も拠点づくりや健康づくりなど多方面で連携しています。

2024年10月、この永江地区に、子どもの居場所づくりを目的とした地域の拠点『みんなの居場所 あいRIN』が誕生しました。施設名は地域の子どもたちが名づけ、「あい=愛」「RIN=輪」という意味が込められています。放課後になるとランドセルを家に置いた子どもたちが続々と集まり、宿題をしたり、駄菓子を購入して食べたり、ボランティアの方とお喋りをしたりと思い思いに過ごしなが世代を超えた交流の輪が広がっています。



世代を超えた交流の場に

永江地区にとって『あいRIN』は、『支え愛の店ながえ』『コミュニティセンター りんRin』に続く3つ目の拠点です。他の2拠点は主に高齢の方を対象としていますが、以前より、子どもたちの第3の居場所や多世代が交流できる場をつくりたいという構想がありました。そしてこのたび、ついにその想いがかたちとなり、新たな拠点が開所しました。子どもたちに存在を知ってもらうために、学校とも連携して周知してもらっているほか、気付きな子どもについての情報共有も行っています。

子どもたちが安心して過ごせる場所をつくることで、孤立の防止、貧困対策、課題の早期解決、地域防犯などにつながっています。また、地域の高齢者にとっては子どもとのふれ合いの機会となり、地域食堂で一緒にご飯を食べたり、将棋を指したりする中で自然と会話が生まれ、お互いの理解も深まっています。

『あいRIN』の事業内容(実施予定も含む)

- ①子どもの居場所(幼児～小学生対象、平日14:00～17:00)
- ②だがり屋あいちゃん(平日14:00～17:00)
- ③地域食堂(平日日中)
- ④学習支援(小中学生対象、土日10:00～15:00)
- ⑤相談事業(開所時間随時)
- ⑥地域の拠点(開所時間随時)
- ⑦学童保育(実施予定、平日14:00～18:00)



ボランティアさんが地域食堂や見守りなど、さまざまな形でサポートしています



入り口横の駄菓子コーナー。子どもも買える金額の駄菓子は、会話のきっかけになることも

ボランティアの温かな支援

運営を支えているのは20名以上の地域ボランティアの皆さんです。「子どものためなら」とボランティアの募集に応じた人も多く、見守りや調理、学習支援の指導など、それぞれが無理のない範囲で子どもたちをサポートしています。実施予定の学童保育では、習字やそろばん、歴史講座などボランティアさんの得意分野を生かした無料のクラブ活動も予定しています。

最終的な目標は“団地再生”。若い人たちに住んでもらうために子育て環境を整え、子どもも大人も、誰もが安心して暮らせる住みよい地域づくりを目指しています。



「地域食堂」では、日替わりの料理を10～15食提供(子ども100円、大人300円)。高齢住民の孤食を防ぎ、相談のきっかけにもなっています



空き家になっていた元クリーニング店を増改装した建物。駄菓子コーナーや飲食スペース、畳部屋などがあり、多い時は20人以上の子どもたちで賑わいます

2024年度トピックス

2024's Topics

Topics

06

東京ビッグサイトで「第14回オールジャパンケアコンテスト」開催

今までで一番大きな会場での開催

2024年8月6日、「第14回オールジャパンケアコンテスト」が『東京ビッグサイト』にて開催されました。主管は「SOMPOケア株式会社」、「株式会社やさしい手」、「東京ロイヤル株式会社」とうほうえんが務めました。また今大会は、高齢者住宅新聞社主催「住まい×介護×医療展2024in東京」との同時開催により、東京ビッグサイトという今までで一番大きな会場での開催となりました。

コンテスト当日には、会場実技として138名の選手の皆さんが、「認知症」「看取り」「食事」「入浴」「排泄」「口腔ケア」「外国人介護職員」の7分野に分かれて課題に応じた介護技能を披露しました。また、動画撮影投稿については養成校9校養成校学生38名を対象に実施いたしました。通常規模の開催に戻ったこともあり、昨年以上に選手の皆さんの情熱と観客の皆さんの声援を大きく感じられた大会になりました。



Topics

07

中国蘇州『天易養老発展有限公司』との交流

譚政剛氏の錦海リハビリテーション病院での研修と法人研究発表会

2024年7月24日～8月20日の期間、業務提携をしている中国蘇州の『天易養老発展有限公司』より譚政剛氏が来日され、うほうえんの錦海リハビリテーション病院、法人本部、なんぶエリアにて約1か月研修されました。また、2025年1月16日、蘇州天易西園護理院をメイン会場に、蘇州天易護理院、四川省養老服務中心にて、「天易康養集団 第3回TK法人研究発表会」が開催され、3施設の様々な部門から、26題の発表がありました。うほうえんからも、児嶋吉功PT(さかい特養)と高須美香室長(法人本部)が審査員として出席しました。この発表会で優秀な成績を収めた2名が、2025年3月28日に行われた「第29回うほうえん研究発表会」で発表されました。



譚政剛氏(錦海リハビリテーション病院前)

Topics

08

「1Day3000ソーシャルウォーク」参加

健康経営の推進項目「運動推進」の施策として実施

健康経営の2024年度重点的な推進項目のひとつ、「運動推進」。2024年6月27日から7月10日までと、2025年2月6日から2月19日までそれぞれ14日間、株式会社ONE COMPATHが主催する「1Day3000ソーシャルウォーク」に参加しました。

このイベントは、「社員の運動習慣のきっかけ作り」や「会社として社会貢献活動への参加」を目的として、多様な企業がチームで参加し、様々なルールのもと、チーム同士で競いあいながら、参加者は期間中、1日3000歩の目標を毎日達成する事を目指します。「ソーシャルウォーク企業対抗戦」では、全国532チーム参加の中、3位を受賞しました。



「さかいエリア」「よなごエリア」にICT機器導入

「さかいエリア」「よなごエリア」では、「地域医療介護総合確保基金事業補助金」を活用し、施設の大規模修繕工事を実施しました。改修工事ではナースコール、固定電話等の更新に併せて、Wi-Fi等のネットワーク環境の拡充及び、新たに施設系を中心にICT機器・介護ロボットの導入を行いました。2020年より段階的に導入を進め、今回でこうほうえんの全施設系事業所への導入となりました。また、「介護テクノロジー定着事業補助金」を活用し、在宅系の主に通所、訪問事業所を中心にICT機器・介護ロボットの導入を行いました。

◎導入事業所

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、ショートステイ、特定施設、ケアハウス、生活支援ハウス、通所・訪問事業所

◎導入機器

ナースコール設備の更新：Vi-Nurse（アイホン社製）／導入実績：31台

●記録システムの追加導入：ライセンス追加、記録オプション等（ワイズマン社製）／導入実績：全事業所

●インカム：ほのぼのTalk（NDソフト社製）／導入実績：430台

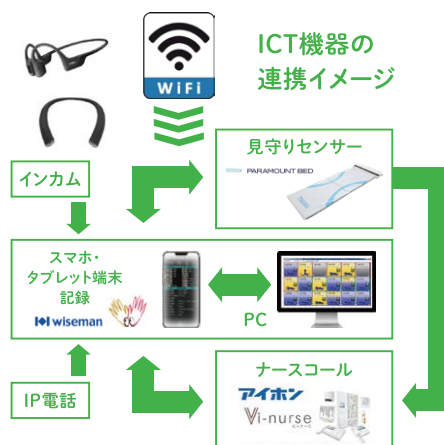
※ネックスピーカーを使用し職員間の情報共有を行うアプリ

●見守りセンサー：眠りSCAN、眠りCNT（パラマウントベッド社製）／導入実績981台

※ベッドのマットレスの下に敷いて寝がえり、呼吸、心拍などを測定するアプリ

●スマホ・タブレット端末：iPhone、iPad（Apple社製）／導入実績：781台

※端末についてはjamf-proを活用し一元管理を行っている



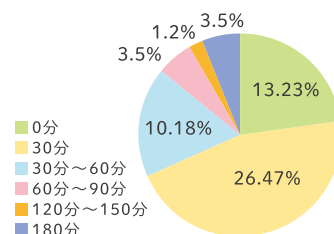
2022年、2023年度で導入したICT機器の効果報告書を基にまとめた効果について（鳥取県内：56事業所対象）

◎導入前に比較して減少した間接業務に関する時間についての効果

- 導入前に比較して30分以上60分以下の効果をみられた事業所が最も多く36事業所（64.3%）、120分以上見られた事業所数も4事業所（7.1%）見られました。
- 一方、削減効果がみられなかった13事業所（23.2%）と一定数ありました。導入後の運用方法や継続的に改善の必要が考えられます。

ICT機器の導入は、多くの事業所において間接業務の削減に寄与することが確認されました。ただし、削減効果は事業所ごとに異なり、さらなる活用方法の検討が必要です。今後は、業務プロセスの改善や職員の活用方法の見直しを行い、ICT機器の効果を最大限に引き出すことが重要と考えられます。

導入前に減少した時間



◎減少した時間の活用方法について ●減少した時間の活用先（複数回答可）は、以下の通りとなりました。

- 1)「利用者とコミュニケーションする時間」=43事業所（76.8%）
- 2)「職員間でコミュニケーションする時間」=40事業所（71.4%）
- 3)「利用者の直接ケアの時間」=31事業所（55.4%）
- 4)「職員の残業時間の削減や休憩時間の確保」=30事業所（53.5%）
- 5)「事業所内のサービスの質の向上や生産性向上のための議論・会議」=21事業所（37.5%）
- 6)「関連機関とやり取りする時間」=17事業所（30.4%）
- 7)「ケアマネジャー等他の事業所とやり取り、または訪問する時間」=16事業所（28.6%）
- 8)「サービスの質の向上や生産性向上のための研修」=14事業所（25%）

ICT機器導入により時間削減が業務改善や職員・利用者双方にとって有益な形で活用につながっています。特に、コミュニケーションの強化や直接的なケアの充実が最も多くの事業所で実施されており、これは利用者満足度や業務効率の向上に大きく寄与すると考えます。また、職員の労働環境の改善も進んでおり、より働きやすい環境づくりにも貢献することを期待しています。今後は、ICT機器を活用しながら、さらなる業務効率の向上やサービスの質の向上に向けた検討を継続します。



◎削減した紙の文書量

- ICT機器導入前に比べ、紙の文書量削減について、10%以上削減できた事業所が47事業所（83.9%）でした。
- 法人全体としても、複合機での印刷カウント数が、前年比：101,263枚減少しています。

今後の方針として、「『生産性向上推進体制加算I』の取得推進」、「在宅系事業所へのDX推進」、「職員のリテラシー向上」を推進してまいります。

(2022年～2024年)

第6次中期目標

中期目標の実践を通して、互恵互助、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の推進に貢献していきます。



※月間目標 4月:あいさつ月間、5月:安全月間、6月・12月:環境月間、7月:事故防止月間、8月・2月:省エネ月間、9月:生活改善月間、10月・3月:防災月間、11月:品質月間、1月:おもてなし月間

※オレンジの文字 2024年度の重点項目

具体的な目標	数値目標
--------	------

I 当たり前品質の徹底と新しい価値の創造



1 基本サービスの再確認～現在のサービスの質の向上～

①顧客が当たり前と思う基本サービス、当たり前品質の標準化	●当たり前品質の確認・ヒヤリハット、ISO見直し ●アンケート総合満足度対前年2%改善
②環境美化・物を大切にす文化づくり	●熱源に係る使用料年間1%減 ●エリア環境美化活動定例化

2 入り口の品質の向上～内外における繋がりづくり～

①断らずサービス開始まで迅速かつ丁寧に行える体制づくり	●利用調整担当者設置 ●サービス利用開始までの時間改善率
②医療機関と老健・在宅の連携強化	●稼働率、受け入れ率の対前年5%改善
③法人内外との顔の見える関係づくり	●計画的な営業活動、他法人主催研修会参加

3 新しい価値の創造～安心して暮らし続けることのできる地域づくり～

①地域づくりの推進	●地域住民の満足度 年次計画対比
②在宅の限界点の向上	●在宅限界点向上システムの利用10名以上
③在宅、施設における食事の質、栄養改善	●栄養マネジメント、メニュー見直し ●利用者及び家族の満足度2%改善
④回復期から生活期へのリハビリテーション体制づくり	●訪問リハ件数、通所リハ対前年5%増
⑤ライフステージに応じた障がいサービスの充実	●新サービスの提供 ●アンケート総合満足度対前年2%以上改善
⑥こほうえん保育コンセプトの浸透	●ゼロ宣言の継続評価 ●各園の取り組み件数
⑦レストランの新しい価値の創造と収支改善	●新メニューの提供数 ●収支の黒字化
⑧自主運営ボランティアの組織化によるシニア世代の活躍の場の提供	●活躍の場提供数 ●保険外サービスの構築数
⑨他法人へのコンサルタント事業の推進	●中国、他法人の評価維持 ●年間2名以上派遣
⑩組織強化に値する新規事業への取り組み、地域資源を生かした他組織との統合	●他組織との連携、合併、新規事業数

II 強くしなやかで健康的な組織づくり



1 課題を解決する組織づくり～見える化・分かる化・できる化～

①委員会を含めたマネージメントレビューの見直し	●委員会の見直し、組織体制の再構築
②災害や感染に備えたBCPの整理と連携の強化	●2022年末までにBCP改良、法人全体訓練の実績

2 職員の健康維持とワークライフバランスを確保した安心して長く働ける職場環境(文化)づくり

①多様な働き方への対応、多様な人材の活用、働き方・能力に見合った給与体系の見直し	●2023年までに見直し実績 ●介護助手数 ●グローバル人材数 ●離職率、職群変更率
②働きやすいサービス提供体制づくり	●残業時間対前年30%削減 ●ICT導入実績とペーパー軽減率
③組織エンゲージメントを向上させる職場づくり	●離職率 業界平均より20%減 ●健康経営認証の取得

3 こうほうえんの強みを継承できる次世代の育成を見据えた教育体制の充実

①新キャリアパスに基づいた教育体制の再構築	●階層別研修 毎年質、量のレベルアップ
②学ぶ文化づくり	●グループ学習文化のエリア別実績 ●e-ラーニング毎年レベルアップ
③中長期を見据えた管理職の育成	●役職者向け研修実績 ●育成計画作成

III 確かな財務基盤の確立



1 収益体質づくり

①管理会計の導入とサービス活動増減差額 毎年3%以上の確保	●管理会計の導入 ●サービス活動増減差額3%
-------------------------------	------------------------

2 次の成長に向けた施設改修

①計画に基づいた大規模修繕の立案と、計画的な推進	●計画の作成、実績 ●エリアデザインコンセプトの立案
--------------------------	----------------------------

3 地域貢献活動の安定運営

①エリアでの地域支援体制づくり	●地域支援担当の配置 ●寄付人数、金額対前年増
-----------------	-------------------------

IV イノベーション(社会変革)に向けた広報活動



1 こうほうえんのファンを増やす広報活動

①ウィズコロナ時代に対応した利用者職員とのコミュニケーション体制づくり	●発信回数、ソーシャルメディア活用実績
②学会発表や職能団体への参加によるこうほうえんの活動の認知度向上	●対前年以上の学会参加、発表

2 福祉現場で働く人のイメージアップ

①福祉現場を体感できる広報の実施	●対前年同等以上の発信回数、実施回数
②AJCC(オールジャパンケアコンテスト)の継続開催と各種団体、企業との連携強化	●メディア掲載数

法人本部の取り組み

Efforts of Corporate Headquarters



社会福祉法人
こうほうえん
(採用・求人)
Instagram



こうほうえん
東京事業本部
Instagram

総務部の活動実績

01 理事会・評議員会の開催＜総務課＞ 理事会11回、評議員会3回。

02 業務改善の状況＜総務課＞

- 事務の統合 よなごエリアの事務を統合し、業務分担再編による効率化・標準化の推進を図りました。
- 収支の見える化推進 会計ソフトの情報を閲覧するためのツール「収支集計くん」を作成。事業管理者等による収支状況確認が容易になり、全員参加の経営体制を推進しました。

03 所轄庁の指導監査実績＜法務課＞

- 受検数:38事業所 ●指摘・指導等の中で、改善報告を求められる指摘を受けた件数:39件

※2023年度から12件増加。東京エリアにおける、介護保険施設運営指導9件増、障害児通所施設に係る実地検査7件増が主な増加要因。

今年度は、法人内の虐待事案等が急増し、中にはこのことによる一般の指導監査以外にも所轄庁の立ち入り検査を受検するという、極めて由々しき事態を招きました。その後の改善対応を今尚、継続中です。指導等も可能な限り本部でとりまとめ、引き続き法人全体の改善に繋げる姿勢を継続しています。

04 法人内の法令遵守監査実績＜法務課＞

法令遵守監査を始め間もなくコロナ禍に入ったため、これまで実地監査は鳥取県下に限定していましたが、今年度より東京エリアにおいても着手しました。

05 法令遵守責任者の活動状況＜法務課＞

- ①規程等の制定・改定の実施。セクハラ防止規程の改定、カスタマーハラスメントの定義及び禁止行為の明確化、「高齢者虐待防止のための指針」の制定、定款細則及び「決裁権限者及び決裁方法等について(内規)」の改定、自動更新契約の更新時における相見積の徴求について明確化
- ②異動等による法令遵守管理者の名簿を更新し、情報共有の活性化を図りました。
- ③職務審査委員会等の事務局並びに関連事案の事実確認面接を行いました。
- ④法人主催の内部研修の中で、指導職以上を対象に法務関連研修を実施しました。

研修人財部の活動状況

01 総括

- ①多様な働き方に対応した新人事制度導入 ライフスタイルの変化や諸々の事情により転勤、フルタイム勤務が困難な職員に対し、長く安心して正規職員として働くことができる新人事制度を正式導入。
- ②研修体制再編成 特定技能外国人介護士受け入れ人数増加に伴い、2週間の集中研修体制とし、日本の風土理解から就業内容まで、共通認識、理解できる体制としました。
- ③職員旅行施行 新型コロナウイルス感染症5類移行後、昨年の制限付き職員旅行を経て、従前の職員旅行体制にて実施。東京、関西、北海道、沖縄、韓国の計6コース。
- ④海外研修受け入れ 日本及び、こうほうえんにおける制度・技術確認の場となるよう長期受け入れを行いました。2024年7～8月:天易養老発展有限公司(1名)／本部・なんぶ・錦海リハ病院、2024年9月～2025年3月:鳥取県海外技術研修生(1名)／キッズタウン

02 2024年度 教育研修実績

①2024年度教育研修実績

- 第29回こうほうえん法人研究発表会:2025年3月28日(金) 発表演題84題(外部発表4演題、ランチョンセミナー6演題含む)。米子コンベンションセンター3会場をメイン会場とし、オンラインとのハイブリッド方式にて開催。 ※優秀賞4題、特別賞(参加者の「いいね!」投票の最多得票)1題、奨励賞9題
- 内部研修 本部主催の内部研修の参加者は、1910人+動画視聴者でした。
※新規採用者研修2回、中途採用者研修19回、キャリアパス研修2回、指導者管理者・トピック研修12回、階層別研修3回
- 外部研修 外部団体が主催する45研修に317名が参加しました。 ●海外研修 無し ※2025年度より再開

②第14回オールジャパンケアコンテスト(AJCC)実施内容

- 開催日:2024年8月6日(日) ●場所:東京ビッグサイト 南展示棟南1ホール
- 選手総数:138名(エントリー156名)(A部門70名:B部門70名) ※130名から140名へ変更
- 開催分野:「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」「外国人介護職員」
- 動画投稿:介護福祉士養成校9校/38名

●「こうほうえん」の表彰者

	分野	所属	氏名
優秀賞	認知症 B(5年以下)	介護老人福祉施設 なんぶ幸福苑	安達 晴香

03 2024年度 受託研修実績

- ①介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修科 実績 定員68名に対して入校者34名、修了者34名で、そのうち法人内就職者は6名でした(就職実績等は2025年5月1日時点)。
- ②介護職員等に対して行う喀痰吸引研修事業 介護職員等に対して行う喀痰吸引第一号・第二号基本研修(※講義はオンライン)及び実地研修、介護職員等に対して行う喀痰吸引第三号指導者養成研修及び基本研修と実地研修を実施しました。

04 2024年度 登録教育機関研修実績

- ①地域向け初任者研修(米子商工会議所共催)(補助金対象事業)
- 受講者:3名
- ②介護福祉士実務者研修 通信課程(受講生補助金対象事業)
- 受講者:18名
- ③介護職員第二号喀痰吸引研修実績
- <基本研修>●受講者:12名 <実地研修>●受講者:7名

05 外部評価受審

- 評価機関:各事業所運営推進委員会
- 受審事業所:グループホーム8事業所、小規模多機能11事業所、認知症デイサービス2事業所、定期巡回訪問介護3事業所

06 第三者評価

- 評価機関:NPO法人メイアイヘルプユー、特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社 ●受審事業所:4事業所

07 人材状況

●職員数(2025年3月31日現在) [単位:人]

エリア	雇用形態		合 計
	正規雇用	非正規雇用	
さかい	274	147	421
よなご	244	131	375
なんぶ	247	112	359
いなば	273	98	371
錦海	117	12	129
北東京	192	113	305
西東京	120	45	165
南東京	100	47	147
法人本部	22	11	33
計	1,589	716	2,305

※)非正規雇用には嘱託再雇用職員含む

●離職率

計算方式	鳥取	東京	本部	全体
①	9.2%	14.1%	7.1%	10.5%
②	8.6%	12.9%	6.7%	9.8%

- ①介護労働実態調査方式:4月2日～
3月31日離職者÷4月1日職員数
- ②中途採用者反映方式:4月2日～
3月31日離職者÷
(4月1日職員数+4月2日～3月31日採用者数)

●2025年4月新規採用者数 [単位:人]

職種	鳥取	東京	合計
介護士	8	11	19
保育士	3	18	21
看護師	1	0	1
作業療法士	2	0	2
言語聴覚士	14	29	43
計	28	58	86

●平均年齢 [単位:歳]

鳥取	東京	本部	全体
47.6	42.2	54.1	46.2

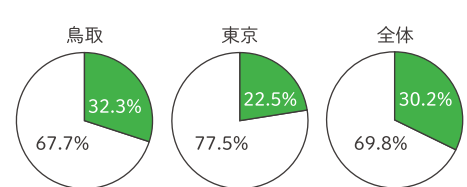
●役職者数 [単位:人]

鳥取	東京	本部	全体
201	62	22	285

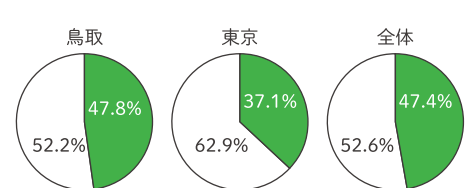
●男女賃金差(平均年収) [単位:円]

雇用形態	女性	男性	割合
正規職員	3,908,405	4,622,033	84.6%
非正規職員	1,880,604	1,936,023	97.1%
全職員	3,194,266	4,046,183	78.9%

●男性女性比率 ■男性 □女性



●男性女性役職者比率 ■男性 □女性



平均基本給は女性の方が高いが、
以下3点から年収は男性の方が高い結果となった

- 1.経営職(役員、施設長級)に男性が多い
- 2.扶養手当、住居手当が男性の方が多い
- 3.時間外手当、夜勤手当が男性の方が多い
(保育士の多くは女性であり夜勤手当が無い)

健康対策室の活動状況

01 職員のメンタルヘルス対策

- 職員のストレスチェック、個人のストレス診断・集団分析を実施 ストレスチェックの受検率74%、高ストレス者の割合9.9%
- 毎月、各エリアのメンタル不調者を把握し支援 2024年度は新規役職・中間層職員を対象とした、養和病院メンタルヘルスチームによるロールプレイやWRAP等新しい形の研修も行いました。養和病院・平成医会による外部相談窓口による利用状況は、11名でした。

02 感染症対策

新型コロナウイルスをはじめ感染症対策の窓口となり、必要な情報発信・助言を行いました。

03 健康経営を目指した取り組み

- 定期健診受診率 100% ●生活習慣病予防健診の推奨 2024年度受診者147名(前年度比10%増 ※鳥取県内)
- 協会けんぽへの健診データ提出 保健指導の受診対象者81名は、勤務内調整をすることで79名の職員が受診できました。
- 職場の腰痛予防対策の法人全体の取り組み 「これだけ体操」を2024年度も引き続き全職員で実施。また、重度の腰痛者に対して、早稲田大学が行っている「モーターコントロールエクササイズ」のプロジェクトにリハビリスタッフも含め30名が参加し、3か月間のエクササイズを実施しました。一定の腰痛改善の効果が見られました。
- 禁煙の取り組み 法人内で施設内での喫煙場所を撤去し、勤務時間内の禁煙の取り組みを行いました。結果は2025年5月にアンケートを実施し評価予定。

経営企画部の活動状況



こうほうえん
季刊誌

01 収支及び業務改善に繋がるプロジェクトを稼働

- ICT MIMOTE、記録、ナースコール、見守りセンサー、インカムの連動導入調整(さかい、よなご)
- フレイル対策 米子市フレイル事業に関する法人内活動の推進

02 経営デザイン スタートアップ認証

- 日本生産性本部経営品質協議会による「経営デザイン(保育・児童部門) スタートアップ認証」の取得支援

03 ICT導入関連 補助金申請

- 鳥取県: 地域医療介護総合確保基金、鳥取県介護分野ICT導入支援事業、鳥取県介護テクノロジー定着支援事業
- 東京都: デジタル機器導入促進支援事業等活用し導入支援

04 健康経営認証の取得(職員の健康維持とワークライフバランス)

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する

「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に継続認定



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

05 介護保険法改正による変更等申請対応

2024年度施行の介護保険改正に対応した鳥取県(西部)の書類申請支援

06 能登半島地震にかかる職員派遣支援

07 その他導入支援

- SNSの活用: 事業所によるSNSの活用支援、情報の配信、メディア配信実績向上
- PC更新: 法人内管理PCの更新調整
- アルコールチェッカー更新調整

東京事業本部の活動状況

01 新卒採用活動

- 延べ148名の学生との面談 6月までの前半戦は福祉系学生にターゲットを絞った介護職、7月以降の後半戦は保育職と、注力分野と期間を分け集中的に採用活動を実施。本部主催施設見学会57回開催、外部就職イベント9回出展、学内就職説明会4回参加のほか、実習生へのアプローチを強化、学校訪問などを積極的に行いました。
- 次年度以降の採用対策 ナビサイトを増やし、夏期～秋期期間中のインターンシップ受け入れを強化。東京事業本部の採用ホームページをスマートフォンでも見やすいビジュアルに新規作成し、学生がアプローチしやすい形にしました。
- 外国人留学生へのサポート 介護養成校と連携し、外国人留学生6名に対し東京都の奨学金に関する連帯保証を行うことにしました。
- 2025年4月の新卒採用者数 介護職12名、保育職5名。介護職12名の内、4名が社会福祉士、5名が介護福祉士、6名が実習生で、質的に高い学生を獲得することができました。
- 中途採用者の募集 無料求人サイト、成功報酬型求人サイトに各事業所を登録。中途採用者についても広く募集をかける形にしました。

02 研修

- 経営デザイン認証 鳥取地区・東京地区合同にて保育・児童部門が、組織のありたい姿や変革課題等を「経営の設計図」に描き明確化していると認められた組織に与えられる「経営デザイン認証組織・スタートアップ認証」を授与されました。
- 介護職員交換研修 中堅介護職員6名を対象に、他事業所での就業体験を実施。ベストプラクティスを相互に共有しました。
- 新入職員フォローアップ 入職直後の介護職員技術研修、入職3か月後研修、6か月後個別面談、年度末研修など、新入職員に対するきめ細かなフォローを行い、定着を図りました。
- 公開研修 各事業所で個別に実施している研修を、他事業所でもリアルタイムで受講できるよう、オンライン配信を行いました。

03 地域における公益的な取り組み

- 東京地区地域における公益的な取り組み委員会 隔月一回定例会を開催し、各事業所・保育園の取り組みの情報共有を行いました。
- うきまの子ども食堂、西大井の誰でも食堂、向原のかけはしカフェ、新砂の高齢者の居場所作り、ブレッドアンドバターのお昼ご飯応援プロジェクト、各保育園での子育て支援など、地域における公益的な取り組みを定着させました。

04 新規事業

- 品川区小山台住宅等跡地における高齢者福祉等の案件(特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護等)公募入札に参加した結果、品川区より指定管理者候補者(予定者)として選定されました。品川区と連携しながら推進中。

2024年のメディア実績

2024 Media performance

雑誌（月刊介護保険、投稿等） 全24件

- 呼吸理学療法学 第3巻1号 脳血管疾患を持つ症例の%努力性肺活量と日常生活動作との関連性
＜執筆＞錦海リハビリテーション病院：永岡直充 理学療法士、今田健 理学療法士次長
- おはよう21 2024年10月号 施設・事業所の「強み」をつくる
＜登場＞田中とも江 施設長、船橋美沙子 主任相談員、奈良とみ子 歯科衛生士、沼上久美子 介護福祉士
- 月間福祉 2025年1月号「医療と介護の連携」と「生産性向上」 ＜登場＞廣江晃 理事長
- 厚労省「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会
こうほうえんのICT取組事例 ＜登場＞社会福祉法人こうほうえん
- Visionと戦略 ＜投稿＞錦海リハビリテーション病院：角田賢 病院長 2件
- 週刊 山陰経済ウィークリー ＜執筆＞廣江研 会長 6件 ＜登場＞2件
- 回復期リハビリテーション ＜登場＞錦海リハビリテーション病院（角田賢 病院長ほか） 2件
- その他 10件

新聞・ネット配信 全30件

- 日本海新聞（18件）
- 読売新聞（1件）
- 高齢者住宅新聞（6件）
- あるくと（1件）
- 日本海新聞 NetNihonkai（1件）
- 神戸新聞（1件）
- 福祉新聞（2件）

テレビ・ラジオ 全5件

- ニュース 《「子どもの居場所 あいRIN」開所式》中海テレビ放送 ＜登場＞廣江晃 理事長、廣江研 会長
- ニュース 《紙オムツごみ減量化に向けた実証実験》中海テレビ放送 ＜登場＞廣江晃 理事長、廣江研 会長
- ワールドビジネスサテライト 《15歳未満の子どもの数が43年連続で減少（総務省/R6.4.1現在：1,401万人）
したとのニュースを受けて、保育園の実情などを、うきま夜間保育園に取材》テレビ東京 ＜登場＞うきま夜間保育園
- ニュースおはよう日本 《通院中の患者さんの音楽ユニット「T.R」紹介》NHK
＜登場＞錦海リハビリテーション病院：通院中患者、元職員
- ニュースエブリー日本海 《令和7年度新規採用者入社式》中海テレビ放送
＜登場＞廣江晃 理事長、廣江研 会長、他職員多数参加



「みんなの居場所あいRIN」
開所式の様子



2025年度入社式での
新規採用者代表あいさつ

地域への公益的な取り組み

Initiatives for the public interest in the region

「こうほうえん」の事業は、“地域との共生”や“地域との連携”を柱として行われています。
地域公益事業や地域貢献活動について2024年度の実績を紹介します。

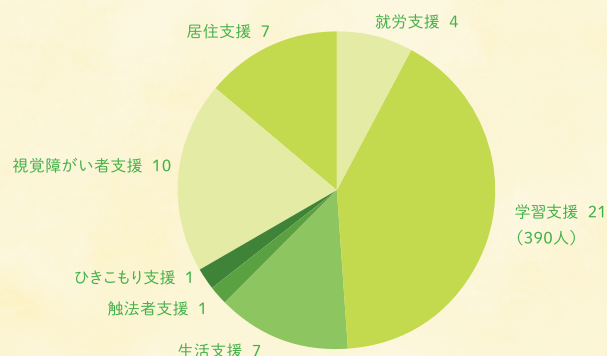
地域公益事業の実施(地域総合支援室の活動)

● 地域総合支援室の活動

01.総合相談事業 延22件

訪問支援(アウトリーチ)による伴走型支援と、重層的な支援ネットワークの構築

02.総合支援事業 延51件



03.外部団体とのネットワーク 8件

- ・鳥取県ライトハウス(視覚障がい者関係機関)
- ・鳥大医学部附属病院ロービジョン外来(視覚障がい者関係機関)
- ・労災病院ロービジョン外来(視覚障がい者関係機関)
- ・鳥取県居住支援協議会
- ・居住支援連携(社会福祉法人養和会)
- ・居住支援連携(社会福祉法人尚仁福祉会)
- ・米子市社会福祉法人連絡会
- ・米子市社会福祉法人連絡会役員会

● 地域総合支援活動の収支

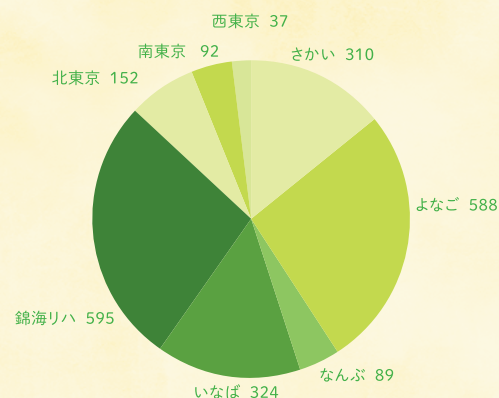
【単位:千円】

		2023	2024	増減
収益	寄付金	2,761	2,797	36
	補助金	180	180	0
	他	1,097	1,080	-17
	計	4,038	4,057	19
費用	事業費・事務費	3,860	4,387	527
	他	4,144	4,145	1
	計	8,004	8,532	528
サービス活動外増減差額		232	63	-169
経常増減差額		-3,734	-4,412	-678

地域貢献活動 ⇒ 互恵互助の理念に基づいた活動

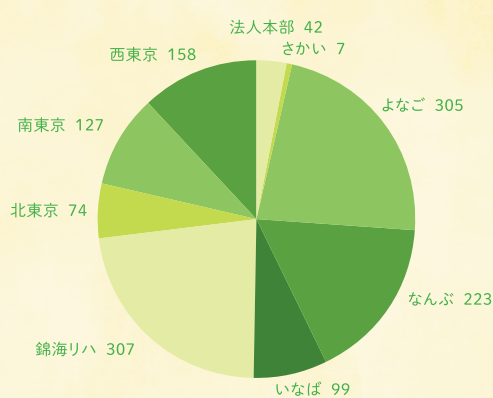
● 実習受け入れ実績(延人数)

2,187人(前年:3,377人)



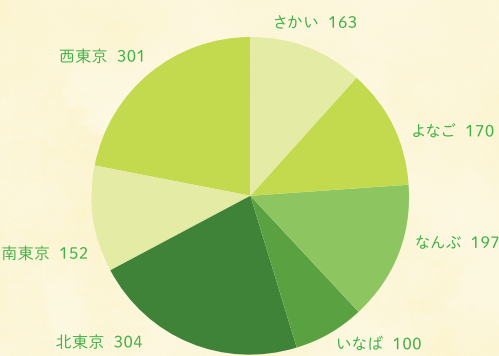
● 見学者受入実績(実人数)

1,342人(前年:1,962人)



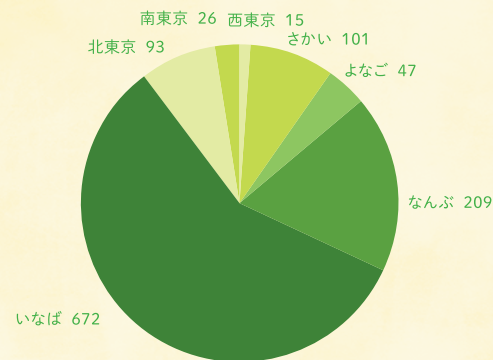
● ボランティア受け入れ実績（延人数）

1,387人(前年:1,479人)



● 職員によるボランティア等（延人数）

1,163人(前年:585人)



法人減免状況

社会福祉法人減免額

		延人数	減免額	補助金額	実質減免額
特別養護老人ホーム	11	1,416	30,998,276	12,398,785	18,599,491
在宅サービス	20	244	2,060,538	483,668	1,576,870
2024年度 計	31	1,660	33,058,814	12,882,453	20,176,361
2023年度 計	33	1,673	31,920,726	12,348,728	19,571,998

独自による取組の減免額（低所得者に対して食事代等の一部減免等）

	事業所数	減免額
2024年度	14	10,808,270
2023年度	14	10,611,215

無料低額診療による低所得者への減免額（介護老人保健施設、リハビリ病院、診療所）

	老健さかい	老健なんぶ	老健いなば	診療所悠々	錦海リハ病院	減免額合計
2024年度	2,800,020	2,522,418	2,664,868	140,300	3,182,385	11,309,991
2023年度	2,612,197	978,797	3,128,090	112,850	2,441,400	9,273,334

高齢者向け優良賃貸住宅の低所得者への減免額（アザレアコート、ケアホーム西大井）

	減免額	補助金額	減免額合計
2024年度	28,230,602	28,230,602	0
2023年度	29,123,938	29,123,938	0

生活支援ハウス事業への補てん額

	さかい	よなご	なんぶ	いなば	補てん額合計
2024年度	2,983,788	4,102,205	9,918,443	7,298,211	24,302,647
2023年度	3,234,713	4,763,308	11,031,100	5,142,519	24,171,640

地域活動等への寄付及び支援⇒地域公益事業の補てん含む

2024年度	4,114,107
2023年度	3,503,975

集計

	減免額	補助金額	実質減免額
2024年度合計	112,717,767	42,006,391	70,711,376
2023年度合計	108,604,828	41,472,666	67,132,162

こうほうえんキャッチフレーズ

「地域にもっとお互いさまを！
社会福祉法人こうほうえん
地域共生社会の実現を目指します」

エリアにおける活動状況

さかいエリア

Sakai area

01 ヘルスケアタウンさかいみなと(境港市)

鳥取県境港市誠道町2083
TEL:0859-45-6781(代表)



ヘルスケアタウン
さかいみなとHP

01

鳥取



食育と図書に触れる「子ども食堂」開催

さかい幸朋苑

『さかい幸朋苑』は、境港市民交流センター（みなとテラス）において月に1回、市民図書館と連携し「子ども食堂」を始めました。元気に「いただきます」と手を合わせ、みんなでテーブルを囲んで会話を楽しみ、温かな雰囲気です。また、学校の話や本の話、食べ物などの話など、自由に自分の気持ちを表現することは素敵なことです。こうほうえんが支援する「子ども食堂」が、地域の子どもたちにとって「美味しく、楽しく、未来につながる」、そういった場になるよう今後も取り組んでいきたいと思っています。

「子ども食堂」は、子どもたちに安心して過ごしていただくための居場所づくり、孤食、栄養バランスを考慮した低栄養問題の改善と、図書に親しむ機会を増やし、子どもの心身の成長を促す活動を官民一体で行っています。



「子ども食堂」を支援するこうほうえん職員

『グループホームひので』開苑20周年

グループホームひので

『グループホームひので』は、地域の皆様に支えられ、開苑20周年を迎えることができました。定員18名の地域密着型のグループホームとして、以前は家族会やボランティアの皆様と共に様々な活動を行ってまいりました。しかし、新型コロナウイルスの流行により、面会制限や活動の制約が求められ、多くの困難がありました。それでも、地域の皆様の温かいご支援のもと、少しずつ日常を取り戻しつつあります。今後も地域密着を大切にしながら、温かい暮らしを支える場所であり続けるよう今後も努力してまいります。ご利用者の主体性を尊重し、一緒に料理をすることで、リハビリの一環になったり、自立心や生活意欲を高めたり、認知症の予防にもつなげています。



食事の盛り付けを手伝って自立心や生活意欲を高める



4人の特定技能職員を受け入れ

『さかい幸朋苑』は、4人の特定技能職員（フィリピン出身）を受け入れました。特定技能職員のご利用者への関わり方は、言葉の壁を越える心の繋がりを大切に、思いやりと優しさを持って接しています。介護業界でも人手不足は深刻化しているなかで、高まる介護需要に対応できる即戦力として期待しています。

4人の特定技能職員と
配属先をご紹介
〈写真左端から〉

- クリザさん 〈介護老人保健施設 さかい幸朋苑〉
- ケイさん 〈介護老人保健施設 さかい幸朋苑〉
- キーシさん 〈介護老人福祉施設 さかい幸朋苑〉
- リアさん 〈介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑〉



介護の仕事に希望を持って来日した
4人の特定技能職員

「心肺蘇生法」を学ぶ

さかい幸朋苑特養

『さかい幸朋苑特養』では西古恵介護福祉士が中心となり、コロナ禍の影響で長らく途絶えていた施設内での「救急蘇生講習会」を実施しました。他施設でも応急手当普及活動が活発に展開されているなか、所属の事業所でも講習会を実施しようと考えました。

講習会を通して、AEDの使用方法や基本的な心肺蘇生法を身に付けることで、心停止者に対して応急の対応ができるようになります。

西古介護福祉士は、応急手当普及員の資格を持ち心肺蘇生法やAEDの使い方など、応急手当の知識や技術を周囲の人々に指導する役割も担っています。



一つひとつ手順を確認しながら
説明する西古介護福祉士（写真奥）

言語のリハビリ「ことの葉カフェ」を再開

さかい幸朋苑

新型コロナウイルスの影響で活動を休止していた「ことの葉カフェ」を再開しました。『さかい幸朋苑』の言語聴覚士が中心となり、言語障害などで話すことに悩みを抱えておられる方やその家族が集う「ことの葉カフェ」では、お茶やお菓子を食べながら、日頃の生活状況やコミュニケーションについて悩みや相談ができるような仲間づくりの場を提供しています。

久しぶりの開催となり、当事者の方々、内外のボランティア、当職員も参加し、講話（鳥取県失語症者向け意思疎通者支援者派遣事業）や自己紹介ゲームなどでにぎわいました。



失語症の方がご家族や支援者と会話を楽しむ

エリアにおける活動状況

よなごエリア

Yonago area

02 ヘルスケアタウンよなご(米子市)

鳥取県米子市上後藤3-7-1
TEL:0859-30-0123(代表)



ヘルスケアタウン
よなごHP

02

鳥取



在宅介護等の紙オムツごみ回収から始まる 多世代参加型地域コミュニティ形成事業に参加

2024年6月から株式会社LIXILの実証事業にこうほうえんが共同事業者として参加しました。本事業は、こうほうえんの多様なサービスを利用される際にオムツごみを回収、LIXILの開発した紙オムツ処理機でごみの減量化を図るものです。また、こうほうえん高齢、保育各拠点に回収ボックスを置き、廃棄のため訪れる方の交流促進を図ることも目的としました。10日間の実証実験では処理によるオムツの重量は4割減となり、11月に行われたイベントでは紙おむつに係るクイズやイベントを実施して世代間の交流を図りました。今回は実証事業への参加ということで実用化にはまだ時間がかかりますが、地域課題の解決の新しいアプローチを考える一つのきっかけとなりました。



連携イメージ



ICT導入による介護現場の業務改善実証事業

アザレアコートこうほうえん

『アザレアコートこうほうえん』では、厚労省委託事業により三菱総合研究所と連携し、ICT機器を活用した介護現場の業務改善に取り組みました。見守り機器(※1)やインカム(※2)を導入し、また、スマートウォッチで職員のストレスや歩数を可視化。夜勤時の歩数や疲労が軽減され、ご利用者の睡眠の質も向上しました。92%の職員が健康意識の向上を実感しており、今後も介護の質の向上と職場環境の改善を進めていきます。



※1: ベッドに設置したセンサーにより体動(呼吸、心拍など)を測定し、睡眠状態を把握するシステム

※2: スマートフォン等を用いて、通常の通話、会話履歴のテキスト表示、介護履歴の音声再生等ができるシステム

Yonago area



よなご幸朋苑
Instagram



レストラン
アザレアコート
Instagram



キッズタウン
からふる
Instagram



キッズタウン
からふる
Facebook



よなご幸朋苑
Facebook



デイハウスよねはら
デイスサービス
暖だん倶楽部
Instagram

災害への備え

2024年は1月1日の能登半島地震に始まる年となりました。近年頻発するこうした地震や感染症が起きた際でも施設機能が安定、継続的に提供されることを目的とし、2024年度から介護施設、事業所における業務継続計画（BCP）の研修、訓練が義務化されました。よなごエリアでもこの流れを受け、各拠点で防災訓練に加えて、災害時の備品の整備や具体的な行動指針の作成、実際の訓練を行いました。

訓練や研修を通じ災害時の行動を職員で周知することの難しさも感じています。いざというときに適切な行動ができるためには繰り返しの訓練しかありません。今後も繰り返しより実践的な視点での訓練を行ってまいります。



海外技術研修生との交流

2024年度鳥取県海外技術研修生として、9月下旬から半年間、ブラジル出身の女性（イチカワ フジ ベアトリス エミ=呼び名はピアさん）の栄養インターンシップを受け入れました。倉吉市にルーツを持つピアさんは、異なる食文化や食習慣、また日本の伝統的な文化を体験することを目標に研修されました。当初は慣れない日本語のニュアンスに苦労するも、1か月程で翻訳機等は必要なくなり、子どもたちとのコミュニケーションも可能になりました。ピアさんは食育便りでブラジルの食文化や習慣を紹介、子どもたちは異なる文化を知り楽しんでいました。研修のまとめとして、「フードロスが減らそうと努力する日本の食習慣をブラジルでも伝えていきたい」と所感の中で述べていました。3月20日に帰国、彼女は既に次の夢（資格取得）に向かって走り出しています。



第2保育園夏祭り

キッズタウン第2保育園

2024年7月、『キッズタウン第2保育園』では、様々なコーナーやシアター、手作りの出店で子どもたちが楽しめる夏祭りを開催しました。

子どもたちが大喜びで楽しんだ、体を動かして遊ぶコーナーをはじめ、シアターやおもちゃ引き、手作りおもちゃコーナーやたこ焼き屋さんなど盛りだくさん。出店では、一つひとつ商品を手に取り、悩みながら自分で選んでショッピングバッグに入れていく子どもたちの姿がありました。その後、ジュース屋さんでもらったりんごジュースを飲んで一息。楽しかった夏祭りが終了しました。子どもたちが参加し体験する夏祭り、保育士から離れて自ら遊びへ向かう姿や、友達や保育士とのやり取りに笑顔の絶えない一日となりました。



エリアにおける活動状況

なんぶエリア

Nanbu area

03 ヘルスケアタウンよなごみなみ(米子市)

鳥取県米子市石井1238
TEL:0859-26-5566(代表)



ヘルスケアタウン
よなごみなみHP



水防訓練

なんぶエリアでは、6月、出水期を前に水難の際の避難経路の確認と避難技術の向上のために、実際に1階特養のご利用者を2階に垂直移動する訓練を行いました。

職員一人ひとりが訓練の内容を日頃から意識して行動し、実際に水害が起こった際に迅速に対応できるようにしています。



地域食堂

みんなの居場所あいRIN

10月にオープンした、『みんなの居場所あいRIN』の地域食堂が好評をいただいて連日にぎわいを見せています。月曜日から金曜日まで多くのボランティアに支えられながら毎日営業しています。

地域の農家の方や、青果店、福祉関係団体からたくさんの野菜の提供をいただいています。地域食堂以外の時間帯も高齢者から子どもまで気軽に立ち寄れるみんなの居場所になっています。



交通安全教室

キッズタウンさくら

毎年、警察の方に来ていただいて信号機の見方、横断歩道の渡り方を教えてもらっている交通安全教室。今年はパトロールカーで来てくださり、子どもたちから歓声があがりました。小さいクラスの子も、大きいクラスの子もパトロールカー周りをぐるりと観察、パトランプが光るのを見せてもらって大喜びでした。記念撮影では警察官の方と一緒に敬礼ポーズ。交通ルールを守って安全に気をつけて、園外へ散歩に出かけます。



なんぶ幸朋苑
Instagramキッズタウンさくら
HP

鳥取県知事表彰

介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑

『介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑』の宇田川瞳課長が鳥取県知事表彰を受けました。これは、社会福祉事業に精励し、その功績が著しく他の模範となるものと認められる者に贈られるものです。宇田川課長は、パーソンセンタードケアの理念のもとに認知症の方の尊厳を大切に介護、その考え方や取り組みを広く展開してきました。長年にわたる功績が受賞の理由となりました。



五千石小学校交流会

デイハウス ごせんごく

人権学習の一環で、地域の福祉施設の理解、高齢者との交流を目的で五千石小学校の3年生に事前に職員2名が学校に訪問し、『デイハウスごせんごく』の特徴や高齢になっても安心して過ごせる環境、介護の仕事について知ってもらいます。

その後、日程を改め、ごせんごくで交流、歌、リコーダーの演奏、一緒に遊ぶ風船バレー、お手玉、ボーリングなどを考えてきてくれ、グループに分かれ楽しいひと時を過ごしました。



芋掘り

グループホームなるみ・キッズタウンさくら

『キッズタウンさくら』の年長さんと、『グループホームなるみ』のご入居者が一緒に芋掘りをしました。グループホームなるみの小さな畑に園児のにぎやかな声が響き、ご入居者も元気をもらいました。グループホームなるみとキッズタウンさくらの交流は6年目になります。



いしい家族会

デイサービスセンターいしい

『デイサービスセンターいしい』では、ご家族・地域の方との繋がりを大切にしています。コロナ禍で中断していた家族会を再開し、お茶を飲みながら日々の悩み事など話しをすることで、ご家族、サポーターさん、職員の交流を行うことができました。また、地域交流では、「万華鏡づくり」「フレ飯作り」「脳トレ＆桜もち作り」等も行い、夏休みや春休みなどは地域の子どもさんたちにも参加していただき、楽しい時間を過ごすことができました。



エリアにおける活動状況

いなばエリア

Inaba area

04 ヘルスケアタウンとっとり(鳥取市)

鳥取県鳥取市浜坂228-1
TEL:0857-23-6611(代表)



ヘルスケアタウン
とっとりHP



オールいなば体制の構築

人財不足と言われる中でも質の高いサービスを提供し続けるため、職員の連携体制や組織の仕組みを見直しました。

3年前に行った通所事業の再編について効果を振り返り、あわせて職員が施設間で柔軟にサポートできる体制を整備。ICT(情報通信技術)を活用した業務の効率化にも積極的に取り組んでいます。

また、職場の課題を職員自らが提案できるよう、会議の仕組みを改善し、意見がきちんと吸い上げられる流れをつくりました。2024年10月からは、全職員を対象に業務改善提案を募る制度も始め、30件以上のアイデアを実際の改善につなげています。

地域との関係の再構築

コロナ禍で中断されていた地域のイベントや活動を再開しています。地域包括支援センターには新たに「地域担当」を配置し、住民の高齢化や担い手不足など、地域が抱える課題に寄り添える体制づくりを進めています。

具体的には、中ノ郷中学校での学習支援や、防災訓練への参加、保育園との交流、町内のお祭りや公民館での出前講座などを実施しました。ホームページでは、各事業所の地域での活動も紹介しています。



出前講座



除草作業

相談室の再編と機能強化

相談からサービス利用開始までの流れをよりスムーズにするため、各施設の相談員が連携する「相談室」の体制を整えました。

医療機関や他法人との連携も強化し、特に鳥取赤十字病院との協力体制により、入退院時の支援がスムーズに行えるようになりました。

また、エリア全体での相談件数や入院・空床情報を共有する仕組みを改善し、相談室に集約されるようにしました。今後はこの情報を活用し、サービスの質の向上や事業戦略の検討に役立てていく予定です。



相談室



拠点を繋いだテレビ会議



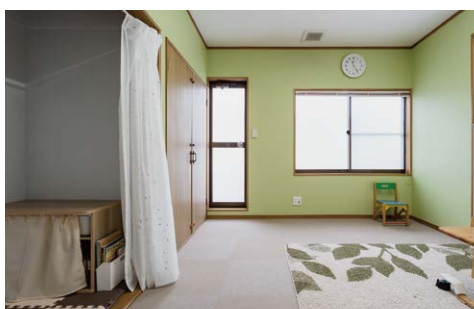
『ことばとこころの支援室にしまち』が開所

ことばとこころの支援室 にしまち

2025年1月、鳥取市内の中心市街地近くにある『にしまち幸朋苑』に隣接して『ことばとこころの支援室にしまち』が開所しました。支援室では、「話す、聞く、食べる」の専門家である言語聴覚士(ST)をはじめとする専門的な視点をもとに、言葉や発達が気になる0歳～18歳までの子どもを対象とした個別支援を行っています。

0歳～未就学児を対象とした「児童発達支援」、小学生から18歳未満を対象とした「放課後等デイサービス」が行われ、今後は支援員が保育施設や学校を訪問し、集団生活の適応を支援する「保育所等支援」が予定されています。

児童発達支援と放課後等デイサービスでは、言葉やコミュニケーションに困り感がある子どもを対象に、保護者も同席して個別で支援しています。それぞれが抱える困りごとに応じて支援計画を組み立て、子どもの好きなことや得意なことを生かし、子どもたちが楽しく取り組めるような内容となっています。支援室は、子どもも保護者もちよっとほっとできて、お話しができる雰囲気の家庭的な心地良い空間。専門の職員たちが温かい笑顔で子どもと保護者を迎えています。



児童発達支援は3部屋あり、子どもの特性に合わせて言葉の学習などを行います。リラックスできる押し入れを改装した小部屋も



一軒家のようなアットホームな雰囲気の支援室の玄関先。言語聴覚士や保育士ら専門のスタッフが常駐しています



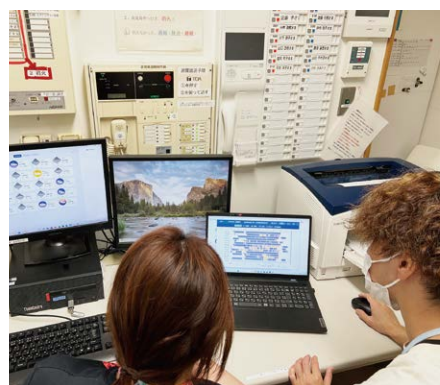
児童発達支援の様子。カードとジェスチャーで言葉を覚えたり、ジェンガで順番を守ることを学んだり、言葉を学ぶための市販のゲームや本を利用した学習などを行います

ICT機器の導入と働き方改革

介護現場の負担軽減とサービスの質向上のため、ICTや介護ロボットの導入を進めました。

「眠りSCAN」という見守り機器で転倒を30%減らし、「すぐろく」という記録システムで介護士の記録残業を67%削減するなど、確かな成果が出ています。

また、ケア手順の動画化やeラーニングの活用により、職員全体のスキルアップにもつながっています。



業務の効率化や書類の一元管理も進み、今では多くの業務をICTでカバーできるようになってきました。職員一人ひとりが情報にアクセスしやすくなり、働きやすさの向上にもつながっています。

エリアにおける活動状況

錦海リハビリテーション病院

Kinkai rehabilitation

05 錦海リハビリテーション病院(米子市)

鳥取県米子市錦海町3-4-5

TEL:0859-34-2300



錦海リハビリテーション病院HP

05

鳥取



『回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in 米子』 プレ講演会のご報告

この度、当院の角田賢病院長を大会長として、『回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in 米子』を、2026年2月6日(金)および7日(土)の2日間にわたり、「地域のなかの回復期、地域のための回復期」の大会テーマの下、米子コンベンションセンターBIGSHIPならびに米子市文化ホールにて開催いたします。当地米子に、全国から2000名を超える参加者の皆様をお迎えする予定です。

この米子大会に先立ち、地元山陰地区のリハビリテーション関係者の皆様へ研究大会開催のご案内を兼ね、地域医療従事者を対象としたプレ講演会(全6回シリーズ)を開催しております。

2024年度、以下の講演会を実施いたしました。



プレ講演会

- 第2弾(2024年6月8日) 西広島リハビリテーション病院 理事長 岡本隆嗣 先生
演題:「回復期リハビリテーションにおけるICFの活用とチームアプローチ」
- 第3弾(2024年11月22日) 東京湾岸リハビリテーション病院 病院長 近藤国嗣 先生
演題:「回復期リハビリテーション医療のスタンダード」
- 第4弾(2025年1月10日) 長崎リハビリテーション病院 理事長 栗原正紀 先生
演題:「令和6年能登半島地震災害支援から見てきたこと」

毎回多くの皆様にご参加いただき、本研究大会に向けた機運も高まってきていることを実感しております。

米子大会を通じ、地域のリハビリテーション医療の発展に貢献できるよう、職員一丸となって準備を進めております。

VRリハビリテーション医療機器「mediVRカグラ」を導入しました

この度、当院では患者さんの更なる回復を目指し、最新のリハビリテーション医療機器であるVRリハビリテーション「mediVRカグラ」を導入いたしました。

「mediVRカグラ」は、VR(仮想現実)技術を応用した新しい医療機器です。ヘッドマウントディスプレイを装着し、目の前に広がる仮想空間内で表示される様々なターゲットに対し、手を伸ばす動作(リーチング)を行います。この動作を繰り返すことで、姿勢バランス能力や、複数の課題を同時に処理する認知機能の向上を促します。

今後も患者さんにとって最善のリハビリテーション医療を提供するため、このような新技術の導入も積極的に進めてまいります。職員一同、引き続き患者さんの回復に向けて全力でサポートしてまいります。



mediVRカグラ

厚生労働省より感謝状をいただきました ～令和6年能登半島地震における当院職員の現地派遣について～

この度の2024年能登半島地震に際し、当院より職員をJRAT隊員として現地に派遣いたしましたことに対し、厚生労働省より感謝状を頂戴いたしました。

角田病院長

まずは能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆様の安全・健康をお祈り申し上げます。

この度、厚生労働省より感謝状を頂戴しましたこと厚く御礼申し上げます。

また、発災直後より現地で被災地支援に全力を尽くした職員にも心より感謝するとともに、微力ではありますがこれからも職員と共に災害支援活動に協力して参ります。



『回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会in札幌』に 職員15名で参加しました

『回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子』の開催視察のため、札幌での第45回研究大会へ職員15名で参加いたしました。

札幌大会は「Be ambitious! 学んで前へ」をテーマに、橋本大会長率いる素晴らしいチームワークで開催され、学術的なプログラムに加え、制服ファッションショーなどユニークな企画もあり大変盛況でした。また、会場には米子大会

のPRブースも設置いただき、鳥取県や米子市をはじめ島根県の観光地などもPRさせていただきました。

札幌大会で学んだ運営ノウハウと熱意を活かし、米子大会も成功をおさめられるよう準備を進めて参ります。



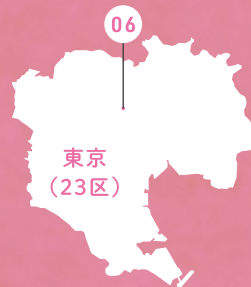
第45回研究大会in札幌



制服ファッションショー

北東京エリア

North Tokyo area



06 ヘルスケアタウンうきま(北区)

東京都北区浮間5-13-1

TEL:03-5914-1331(代表)



ヘルスケアタウンうきまHP

地域との交流

岩淵保育園 「おうちにねむっている絵本とまだ読んだことのない絵本をこうかんしませんか?」のキャッチコピーで、「いわぶちBookswap(えほんこうかんかい)」を毎月第2土曜日に実施。家庭にある読まなくなった絵本や他の人にも読んでほしい絵本を持参して、自分が持ってきた絵本と同じ冊数の絵本を交換します。北区に登録しているボランティアさんによる読み聞かせや、園庭開放、季節の製作なども楽しめます。

ブレッド&バター 地域の方とこうほうえん職員合同の無料のピラティス教室を月に一度開催。毎回20名前後の方が参加され、和気あいあいと楽しく身体を動かす事で、お互いに仲良くなりました。普段はこうほうえんとは全く縁のないたくさんの地域の方が、こうして毎月こうほうえんに足を運び、こうほうえんの活動を楽しみにしてくださるとても良い機会となっています。

うきま幸朋苑 2023年より美容学校の実習施設として、デイサービスでメイク・ネイル・ハンドマッサージなどを実施してきましたが、2024年からは、特養でも実施することができました。



無料ピラティス教室(ブレッド&バター)



美容レク(うきま幸朋苑)

職員の働き方への取り組み

キッズタウンうきま保育園

保育のICTシステム「コドモン」の導入により、今まで手書きで行ってきた帳票類がコドモン上に移行したことで、保育者の負担が少なくなり、保育に目を向ける時間や子どもたちについて考える時間が増えてきました。書類だけでなく、会議のやり方、時間の使い方、超過勤務が減ったことなど、保育にICTを導入したことによって、保育者の業務内容にもいろいろな変化が見られました。そのことを2025年3月開催の「法人研究発表」で発表したところ、優秀賞を受賞しました。また、『キッズタウンうきま保育園』の看護師2名が看護師会で受けた救命救急講習に魅了され、その時と同じ講師を招き、全職員対象に講習会を行いました。ロールプレイ研修形式で、実際に事故が起きたことを想定して緊迫した雰囲気での訓練を行いました。研修後には、職員の意識が高まりました。緊急時にも落ち着いて行動できるように、各クラスには「アクションカード」を常設しています。



救命救急講習

研究発表で受賞

うきま幸朋苑

2025年3月に開催された「法人研究発表」において、3年連続で優秀賞を受賞しました。また、「木下準四郎基金」に採択され、発表しました。



優秀賞を受賞



「木下準四郎基金」の発表

North Tokyo area



介護老人福祉施設
うきま幸朋苑
Instagram



キッズタウン
うきま保育園／
夜間保育園
Instagram



ブレッド&
バター
Instagram



キッズタウン
あとりえ
Instagram



キッズタウン
ばれっと
Instagram



キッズタウン
東十条病後児
保育室すずらん
Instagram



岩淵保育園
Instagram

子どもたちを育み、支える

キッズタウン東十条 2024年はお楽しみや行事などを再開。夏はすいか割り、プール、秋は運動会、冬はキッズフェスタなど、子どもたちやご家庭と楽しむことができました。キッズフェスタでは毎年大人気のJRコラボコーナー、今年は新たにS&B食品スパイスカレー作り、東京家政大学の保育科の先生と学生さんによる製作コーナーなど、たくさんの方にご協力いただきました。職員もお楽しみコンサートを企画、楽しい歌や音楽で会を盛り上げました。

キッズタウンあとりえ 2025年3月29日、卒所児14名の就学祝い会を行いました。一人ひとりの課題や成長の過程は異なりましたが、全員が出来る事を増やし、自信を身に付け、巣立って行きました。

キッズタウンばれっと 『ばれっと』では入口に季節ごとの壁面を飾っています。子どもたちの個人の製作を飾ることもありますが、みんなで協力して大きな作品と作ることもあります。ばれっとにお越しの際は、ぜひ入口の子どもたちの作品にもご注目ください。

キッズタウンうきま保育園 年長児が夏に「デイキャンプ」を行っています。保護者の方に声をかけ、手作りキャンドルを作成しました。当日の夜にキャンプファイヤーの周りに手作りキャンドルを灯して、当日はお土産として持ち帰りました。

冬休み・春休みには、小中学生のボランティアを受け入れました(60名)。園児と一緒に過ごしたり、保育士の手伝いをしたりして保育士の体験をしてもらいました。卒園した後も、気軽に来られる居場所の提供と共に、園児にとっても社会経験ができる機会となりました。

うきま幸朋苑 2022年に開始した子ども食堂は、2024年「けんこうキッチン」と名称を付け、北区社協の「子ども食堂ガイド」に掲載されました。今年度は「餃子の王将」から食事提供を受け、子どもたちに大好評でした。「浮間子ども・ティーンズセンター」にチラシを設置することで、家庭に事情がある児童2名が職員の方と一緒に利用されるようになりました。

ブレッド&バター 2024年も継続して、給食のない長期休みに何らかの事情でお昼ご飯を用意できないご家庭のお子様を対象に、「ご飯応援プロジェクト」として、軽食の提供を毎日実施しました。また、この活動に地域のボランティア団体「スマイルリンク」さんが協賛に入ってくださり、参加児童に文具などの日用品のプレゼントと、パンやドリンクの費用負担を担っていただくことができました。



キッズフェスタ(キッズタウン東十条)



壁面飾りづくり(ばれっと)



小中学生のボランティア
(キッズタウンうきま保育園)



ご飯応援プロジェクト～子ども食堂～
(ブレッド&バター)

エリアにおける活動状況

西東京エリア

West Tokyo area



07 ヘルスケアタウン むかいはら(板橋区)

東京都板橋区向原3-7-7
TEL:03-5917-0753



ヘルスケアタウン
むかいはらHP

09 上石神井幸朋苑 (練馬区)

東京都練馬区上石神井3-79-91
TEL:03-5991-1331



上石神井
幸朋苑HP

08 ヘルスケアタウン 下落合(新宿区)

東京都新宿区下落合1-9-10
TEL:03-3365-1333(代表)



ヘルスケアタウン
下落合HP

相談・学びの場を設ける

介護事業では、各事業における稼働を高めることを目的に、エリア内で相談・学びの場を毎月開催しています。管理者・相談員が営業活動を学び実践し、稼働率向上に努めてきました。また、各拠点単位でのサービス間の連携・協働を進め、拠点間でのご利用者の営業活動も推進しています。

地域とのつながり

上石神井幸朋苑

上石神井拠点では、地域交流ホール「アカンサスホール」を活用し、地域住民の参加も視野に春喫茶や夏祭りの開催、地域福祉講座の開催、よろず相談の実施を継続しています。また、新たなファンづくりとして、毎月「広報誌」を発行。施設での出来事や日々の様子、イベントの報告など、笑顔あふれる内容をお届けしています。新たにSNSを始めました。施設の様子やイベント、スタッフの声などを積極的に発信し、地域の皆様とのつながりを深めていきます。



毎月、広報誌を発行

施設開設10周年記念の「かけはしまつり」

ヘルスケアタウンむかいはら

毎年恒例の「かけはしまつり」。2024年は向原施設開設10周年記念のまつりとなりました。テーマは「繋がって元気に 感謝の10年!」。当日は、職員・外部事業所・ボランティア・ご来場くださった地域住民の方々、総勢600人が集う規模となりました。今年は外部ボランティアの方120名、地域就労支援事業所9事業所、地域の中学校の吹奏楽部や図書館等々の方々のご協力くださいました。地域に開かれたこうほうえんとしてのイメージが出来上がってきています。



むかいはらガーデン(花壇)に
ブルーベリーの苗を植樹



地域の中学校の吹奏楽部による演奏

West Tokyo area



ヘルスケアタウン
むかいはら
Instagram



ヘルスケアタウン下落合
ショートステイ下落合
Instagram



上石神井幸朋苑
Instagram

「向原医療介護連携会議」の取り組み

ヘルスケアタウンむかいはら

向原拠点は、開設時から東京都の地域包括ケアシステムのモデル地域として指定を受けています。その母体となる会議体として「向原医療介護連携会議」があり、2024年度は本会議・講演会・勉強会を年2回ずつ開催しました。



向原医療介護連携会議の様子

毎月1回「かけはし喫茶」を開催

ヘルスケアタウンむかいはら

向原拠点では、公益的な取り組み活動の一環として毎月1回「かけはし喫茶」を開催。地域の方、サービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方、保育園児、デイハウスのご利用者が『ヘルスケアタウン向原』2階のウッドデッキを活用して、多世代交流会を行っています。園児たちの歌やダンスのお披露目、ボランティアさんによる歌会、体操教室、地域包括支援センターの相談会など、内容盛りだくさん。季節のおやつも楽しみながら、毎回多くの方々にご参加いただき、年間300名の地域住民等の参加に繋がりました。



ウッドデッキでの多世代交流会

子育て支援で「地域のかげはし」に

キッズタウンむかいはら保育園

『キッズタウンむかいはら保育園』では、開設当初からお茶の資格を持っている職員に週1度年長児向けにお茶のお点前を教えてもらっています。初めは袱紗のたたみ方から始まり、茶筌など道具の名前を覚え、少しずつ作法を教えてもらいできる事を増やしていき、3月にはお茶会に自分のお父さん、お母さんを招待しお点前を披露しました。コロナ期間中ずっとできていなかった子育て支援『のびのびくらぶ』を今年度再スタート。子育て相談や保育体験だけではなく、新たに「ねんねアート」や「手形足形製作」「手作り玩具作り」など、親子の思い出になるイベントも取り入れていき、少しずつ来園参加者が増えていきました。0歳児向けの離乳食講座や赤ちゃんとの関わりあそびの出前講座、助産師による妊婦講座など地域に向けた講座を複数回実施し、どれも大盛況でした。



お茶のお点前を教わる園児

他の社会福祉法人との交流

ヘルスケアタウン下落合

下落合拠点では、新宿区社会福祉協議会へ加盟し、区内の他の社会福祉法人（保育、高齢、障害）との交流も重ね、1法人では行えなかった公益的な取り組みを展開。年2回のフードパントリーを実施しました。この交流で知り合った障がい者施設から下落合保育園に見学が訪れるなど、新たな交流のスタートともなっています。下落合保育園では、社会福祉協議会にご紹介いただいた新宿区『あゆみの家』にメダカをいただきに訪問することとなりました。これまでになかった施設との交流に満足の子ども達でした。



『あゆみの家』でメダカをいただき、
笑顔がはじける

エリアにおける活動状況

南東京エリア

South Tokyo area

- 10** ヘルスケアタウン
にしおお（品川区）
東京都品川区西大井2-5-21
TEL:03-5718-1331（代表）



ヘルスケアタウン
にしおおHP



キッズタウン
にしおおHP

- 11** 地域密着型介護施設新砂・
新砂保育園（江東区）
東京都江東区新砂3-3-11
TEL:03-5677-1331（代表）



地域密着型
介護施設新砂HP



新砂保育園
HP



一時保育～ほほえみルーム～

キッズタウンにしおお

『キッズタウンにしおお』には、「1時間リフレッシュしたい!」「美容院に行きたい!」「仕事で利用したい!」そんな現代の子育てパパママ世代に合わせて気軽に利用できる『一時保育ほほえみルーム』があります。宣伝や口コミで広がり、2024年度は予想を大きく超えるたくさんの方のご利用がありました。料金や持ち物などを見直し、一人ひとりに合わせた丁寧な保育を進め、「安心する」と保護者の方からご評価いただいています。



一時保育の現場

口腔ケア

ケアホーム西大井

『ケアホーム西大井』では、2015年以降、ブロンズ・シルバー・ゴールドからなる口腔ケア段位制度を独自に創設。現在はゴールドクラスへ2名の職員が挑戦しています。全19名の介護士のなかで、新人、特定技能外国人職員（計6人）は今後挑戦ですが、その他の職員は段位取得をしています。口腔アセスメント能力と日々の口腔ケア技術の向上を今後も図り、口腔内の異常の早期発見やその対応などを行っていきます。



口腔ケア認定証取得

国際交流

ケアホーム西大井

『ケアホーム西大井』では1年間で中国から100名の視察来苑がありました。高齢者施設の運営やユマニチュード認証施設の環境や雰囲気などを見ていただき、視察に訪れる方々から高い評価を得ています。また、中国上海や四川省成都での研修において、ケアホーム西大井の職員2名が講師を務めるなど活躍しています。



中国から視察来苑

South Tokyo area



ケアホーム
西大井
こうほうえん
Instagram



新砂保育園
Instagram



キッズタウン
にしおい
Instagram

ユマニチュードの取り組み

ケアホーム 西大井

『ケアホーム西大井』にてユマニチュード認証取得から1年が経過。新たな体制でユマニチュード認証施設としての質を維持しつつ、さらに良いケアが提供できるよう研鑽しています。月2回のユマニチュード研修を実施し、他の拠点から参加される仲間と学びを深めています。さらに法人の中期目標にもユマニチュードが掲げられ、法人全体への広がりを見せています。西大井へ鳥取エリアからの視察も開始しており、法人全体での取り組みの一助となれるようさらに努力していきます。



「ユマニチュード福岡」参加



ユマニチュード法人内視察来苑

世代間交流

地域密着型介護施設 新砂・新砂保育園

『新砂介護3事業』と『新砂保育園』の日常交流が盛んに行われるようになっていきます。餅つき大会や秋祭り、防災訓練や敬老の日など季節ごとの行事における交流のほか、魚釣り遊びを一緒に取り組む機会など、日常的な交流も通じ、子どもたちの笑顔に、介護ご利用者の皆さまも職員も気持ちを癒やされ、穏やかで優しい時間となっています。



魚釣り遊び



世代間の日常的な交流

地域貢献活動と公益的な取り組み

『グループホーム新砂』での毎月のイベントには、ボランティアのご協力もあり、大勢の地域の方々にご参加いただきました。職員が出身高校の仲間とボランティアとして吹奏楽コンサートを2年連続で開催し、ご参加者に変大好評を得ています。

『キッズタウンにしおい』では、地域の未就園児親子が気軽に遊びに来られる子育て支援活動「ケンケン広場」が大変好評を得ています。ベビーマッサージや給食体験、在園児と遊ぶなど様々な企画を開催。若いお母さんが育児や家庭の悩みの相談として、担当の経験豊富で物腰の柔らかいベテラン保育士を求め毎日のように遊びに来られる方もいます。



吹奏楽コンサート



ケンケン広場

創立年

1986年



「こうほうえん」は、医療法人養和会広江病院（現養和病院）の創立50周年の際、地域への恩返しとして1986年に設立されました。地域に愛され、地域に信頼される「こうほうえん」を目指し、2021年に創立35周年を迎えました。

職員数 **2,305名**

日本に約21,000ある社会福祉法人の中にあっても大規模な法人です。



事業所数

122事業所鳥取**122**東京

鳥取県と東京都で事業を展開。その事業所数は122に上ります。地域に根差した総合的なサービスを提供していることが法人としての強みです。



実施サービス数

225事業

介護老人福祉施設をはじめ、サービス付き高齢者向け住宅や保育園からなる複合施設を展開。事業所で行うサービス数は225事業に上ります。介護のみならず、保育、障がい福祉サービス、リハビリテーション病院、レストランの運営など総合的なサービスを提供していることが法人の特徴です。

1番

全国初・業界初

こうほうえんでは、新たな試みにも果敢に挑戦。全国初となる在宅支援センターの設置、老人保健施設とケアハウスの合築に取り組んだほか、都内初となる一般保育園と夜間保育園の合築も行いました。組織として進化し続けることを課した結果、「日本経営品質賞」*、「ISO9001」取得、「ハイ・サービス日本300選」、「おもてなし経営企業選」に選定されるなど、業界初となる快挙も成し遂げています。2025年には昨年に引き続き「健康経営優良法人」の認証を取得しました。「日本経営品質賞」* 2014年度日本経営品質賞大規模部門（鳥取地区/介護）受賞



2024年度減免総額

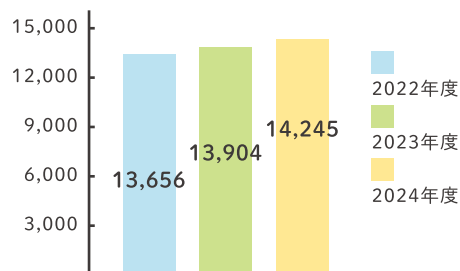
112,717,767円

「こうほうえん」は、独自の減免制度や低所得者に対する減免制度など社会福祉法人としての使命を果たしています。

サービス活動収益

(単位: 百万円)

社会福祉法人における経営指標で、一般の会社の売上にあたるサービス活動収益は2024年度決算で142億円。安定的に上昇を続けています。



財務の状況

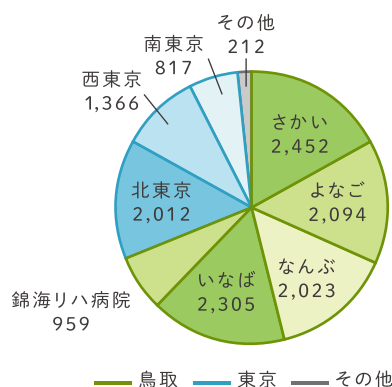
(2025年3月31日現在、単位: 千円) financial situation

貸借対照表

借 方		貸 方	
流動資産	4,891,999	流動負債	2,381,991
基本財産	12,229,157	固定負債	1,760,407
その他固定資産	4,041,994	基本 金	466,670
		国庫補助金等特別積立金	5,215,369
		その他の積立金	1,935,598
		次期繰越活動増減差額	9,403,115
		(内当期活動増減差額)	247,434
		純資産	17,020,752
計	21,163,150	計	21,163,150

資金収支計算書

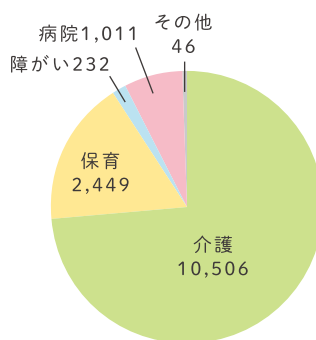
借 方	
事業活動支出	13,555,393
設備整備等支出計	921,723
その他活動支出	151,920
当期資金収支差額	39,872
前期末支払資金残高	3,429,652
当期末支払資金残高	3,468,726
計	14,668,909



エリアごとのサービス活動収益

(単位: 百万円)

こうほうえん本部は鳥取県にありますが、サービス活動収益は、鳥取県70%、東京30%と東京での活動収益が大きくなりつつあります。



サービスごとのサービス活動収益

(単位: 百万円)

収益の約3/4は介護分野ですが、保育や障がいの分野において新たな事業所を開設するなど、社会のニーズに応じてサービスを拡大しています。

寄附のお願い

社会福祉法人こうほうえんでは、地域の皆様が安心して暮らせる社会の実現を目指し、日々運営をしております。弊法人では、弊法人が行う社会福祉事業(介護・医療・保育・障がい者支援・地域総合支援)の一層の充実のために、個人、法人など皆様からご寄附を受付けております。お寄せいただいた寄附は財源の一部とし、老朽化した施設の改修やさらなる設備の充実、利用者へのサービス向上、また、地域社会全体の福祉向上に直接役立てさせていただきます。皆様からのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

..... 寄附は下記の方法にてお受けいたしております。

1. 寄附申込書の記入方法について (1)または(2)よりいずれかを選択

(1) URL、または二次元コードより <https://qr.paps.jp/onw9AO>

寄附申込書をダウンロードいただき必要事項を記入後、郵送またはご持参ください。宛先は下記の通りとなります。

宛先: 〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1400

社会福祉法人こうほうえん 法人本部事務局 寄附担当宛



寄附申込書

(2) 二次元コードより

寄附申込書(googleフォーム)の必要項目を記入し送信



googleフォーム

2. 振込について

山陰合同銀行 米子西支店(普通)口座番号3730494

口座名義 フク)コウホウエン チイキコウケンジギョウ

3. 寄附サイトについて

URL、または二次元コードより

<https://syncable.biz/associate/kohoen-hojinhonbu>

銀行振込の他、クレジットカードや

AmazonPayでも寄付が可能です。



寄附サイト

4. お問い合わせ先

銀行振込の際は、ご本人様の確認がとれませんので、必ずお電話かメールでご連絡ください。

電話: 0859-24-3111

E-mail: welfare@kohoen.jp

※税制優遇制度について

■個人の場合 寄付金が2,000円を超えた場合は、確定申告を行うことで税制上の優遇措置を受けることができます。

■法人の場合 一般の寄付金控除額とは別枠で、法人税法上の損益参加ができます。

※詳細につきましては国税庁ホームページをご参照ください。

皆様からの寄附金2024年度は4,508,600円。主に以下の用途で活用させていただきました。

ご利用者の生活がより快適になるよう入浴用ストレッチャーの購入や設備機器の更新、子ども食堂・お祭りなどのイベント運営のための施設運営費として活用。学習支援、視覚障がい者支援、居住支援、触法者支援などの地域公益事業運営費として活用。

事業活動計算書

貸 方	
事業活動収入	14,381,628
設備整備等収入	248,221
その他の活動収入	39,059
計	14,668,909

借 方		貸 方	
サービス活動 費用	14,088,080	サービス活動収益	14,245,608
サービス活動 外費用	51,957	サービス活動外収益	127,440
特別費用	248,745	特別収益	264,144
税引き前当期活動増減差額	248,409	(法人所得税)	975
前期繰越活動増減差額	9,249,181	その他の積立金取崩額	35,000
当期末繰越活動増減差額	9,495,816		
その他の積立金積立額	35,000		
次期繰越活動増減差額	9,402,316		
計	14,637,192	計	14,637,192

01



ヘルスケアタウンさかいみなと(境港市)

鳥取県境港市誠道町2083 TEL:0859-45-6781(代表)

<さかい>介護老人福祉施設 さかい幸朋苑／介護老人保健施設 さかい幸朋苑／ケアハウス さかい幸朋苑／
 特定施設入所者生活介護 さかい幸朋苑／デイサービスセンター さかい幸朋苑／認知症対応型デイサービスセンター さかい幸朋苑／
 訪問介護事業所 さかい幸朋苑／訪問看護ステーション さかい幸朋苑／通所リハビリテーション事業所 さかい幸朋苑／
 訪問リハビリテーション事業所 さかい幸朋苑／ケアプランセンター さかい幸朋苑
 <せいでう>デイハウス せいでう／生活支援ハウス さかい幸朋苑 <わたり>デイハウス わたり／ビスターレ わたり
 <あがりみち>グループホーム あがりみち／デイハウス あがりみち <ひので>グループホーム ひので <新さかい>介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑／
 短期入所生活介護事業所 新さかい幸朋苑／地域密着型介護老人福祉施設 みなと幸朋苑／グループホーム みなと／デイサービスセンター 新さかい幸朋苑

02



ヘルスケアタウンよなご(米子市)

鳥取県米子市上後藤3-7-1 TEL:0859-30-0123(代表)

<よなご>介護老人福祉施設 よなご幸朋苑／短期入所生活介護事業所 よなご幸朋苑／介護老人保健施設 きんかい幸朋苑／
 短期入所生活介護事業所 きんかい幸朋苑／生活支援ハウス よなご幸朋苑 <ケアハウス>ケアハウス よなご幸朋苑／米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター
 <かみごと>グループホーム かみごと <よねはら>デイハウス よねはら／デイサービスセンター 暖だん倶楽部
 <かわさき>デイサービスセンター かわさき／ケアプランセンター かわさき <アザレアコート>特定施設入所者生活介護 アザレアコートこうほうえん／
 デイサービスセンター アザレアコート／訪問介護事業所 よなご幸朋苑 <はたがさき>グループホーム はたがさき <よみ>福祉用具貸与事業所 幸朋苑／
 生きいきケアショップ 暖だん倶楽部 <キッズタウン>認定こども園 キッズタウンかみごと／キッズタウン第2保育園／キッズタウン子育て支援センター／
 キッズタウンからふる

03



ヘルスケアタウンよなごみなみ(米子市)

鳥取県米子市石井1238 TEL:0859-26-5566(代表)

<なんぶ>介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑／ユニット型介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑／短期入所生活介護事業所 なんぶ幸朋苑／介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑／
 ユニット型介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑／ケアハウス なんぶ幸朋苑／特定施設入所者生活介護 なんぶ幸朋苑／生活支援ハウス なんぶ幸朋苑／
 訪問介護事業所 なんぶ幸朋苑／訪問看護ステーション なんぶ幸朋苑／通所リハビリテーション事業所 なんぶ幸朋苑／訪問リハビリテーション事業所 なんぶ幸朋苑／
 ケアプランセンター なんぶ幸朋苑 <なるみ>グループホーム なるみ
 <いしい>認知症対応型デイサービスセンター いしい <くずも>デイハウス くずも <ごせんごく>デイハウス ごせんごく／ビスターレ ごせんごく
 <ながえ>デイハウス ながえ／米子市尚徳地域包括支援センター／エンジョイりんRIN／みんなの居場所あいRIN <さくら>認定こども園 キッズタウンさくら

04



ヘルスケアタウンとっとり(鳥取市)

鳥取県鳥取市浜坂228-1 TEL:0857-23-6611(代表)

<いなば>介護老人保健施設 いなば幸朋苑／ユニット型介護老人保健施設 いなば幸朋苑／ケアハウス いなば幸朋苑／生活支援ハウス いなば幸朋苑／
 デイライフ ゆうゆう／通所リハビリテーション事業所 いなば幸朋苑／介護老人福祉施設 新しいなば幸朋苑／短期入所生活介護事業所 新しいなば幸朋苑／
 特定施設入所者生活介護 新しいなば幸朋苑／地域密着型特定施設入居者生活介護 新しいなば幸朋苑／ケアプランセンター いなば幸朋苑
 <はまさか>グループホーム はまさか <にしまち>介護老人福祉施設 にしまち幸朋苑／短期入所生活介護 にしまち幸朋苑／通所リハビリテーション にしまち幸朋苑／
 訪問看護ステーション にしまち幸朋苑／訪問リハビリテーション事業所 にしまち幸朋苑／にしまち診療所 悠々／ことばとこころの支援室にしまち
 <じゅんぶう>デイハウス じゅんぶう <鳥取市北>デライフ いきいき／デライフ ほのぼの／ホームヘルプ 鳥取北／鳥取北地域包括支援センター
 <湖東>鳥取湖東地域包括支援センター

05



錦海リハビリテーション病院(米子市)

鳥取県米子市錦海町3-4-5 TEL:0859-34-2300

<錦海リハビリテーション病院>
 錦海リハビリテーション病院／
 錦海リハビリテーション病院(訪問リハビリ)／
 通所リハビリテーション きんかい

06



ヘルスケアタウンうきま(北区)

東京都北区浮間5-13-1 TEL:03-5914-1331(代表)

<ヘルスケアタウンうきま>介護老人福祉施設 うきま幸朋苑／
 ユニット型短期入所生活介護 うきま幸朋苑／
 通所介護事業所 うきま幸朋苑／就労支援プレッド&バスター／
 キッズタウンうきま保育園／キッズタウンうきま夜間保育園／
 キッズタウンばれっと <東十条>キッズタウン 東十条保育園／
 キッズタウンあとえ <岩淵>岩淵保育園(東京都北区指定管理)

07

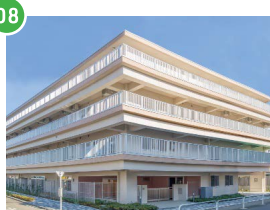


ヘルスケアタウンむかいほら(板橋区)

東京都板橋区向原3-7-7 TEL:03-5917-0753

<ヘルスケアタウンむかいほら>
 サービスタ付高齢者向け住宅 コーシャハイム向原／
 デイハウス むかいほら／訪問介護事業所 むかいほら／
 キッズタウン むかいほら保育園

08



ヘルスケアタウン下落合(新宿区)

東京都新宿区下落合1-9-10 TEL:03-3365-1333(代表)

<ヘルスケアタウン下落合>
 デイハウス 下落合／ショートステイ 下落合幸朋苑／
 キッズタウン 下落合保育園

09



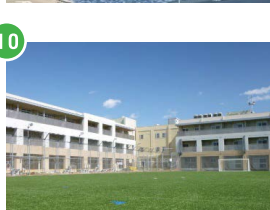
上石神井幸朋苑(練馬区)

東京都練馬区上石神井3-79-91

TEL:03-5991-1331

<上石神井幸朋苑>
 特別養護老人ホーム 上石神井幸朋苑／
 ショートステイ 上石神井幸朋苑

10



ヘルスケアタウンにしおおい(品川区)

東京都品川区西大井2-5-21 TEL:03-5718-1331(代表)

<ヘルスケアタウンにしおおい>
 ケアホーム 西大井こうほうえん／西大井いきいきセンター／
 キッズタウン にしおおい

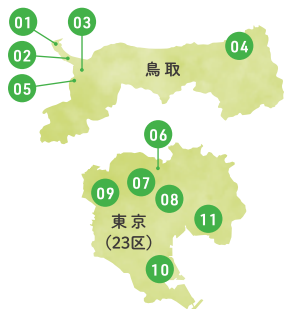
11



地域密着型介護施設・新砂保育園(江東区)

東京都江東区新砂3-3-11 TEL:03-5677-1331(代表)

<地域密着型介護施設・新砂保育園>
 グループホーム 新砂(江東区指定管理)／
 多機能ホーム 新砂(江東区指定管理)／
 シルバーステイ(江東区指定管理)／
 江東区新砂保育園(江東区指定管理)



社会福祉法人

こうほうえん



法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1400

TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113

フリーダイヤル:0120-418-658

東京事業本部

〒140-0015 東京都品川区西大井2-5-21

(ケアホーム西大井こうほうえん内)

TEL:03-6410-7365 FAX:03-6410-7364

https://www.kohoen.jp

こうほうえん

2025年6月26日発行